

08年度事業 本格展開中！

—第11回ふくい・くらしの研究所総会にて、全議案が原案通り可決—

日 時：2008年6月28日(土) 13:30～14:30
会 場：福井県生活学習館 学習室101
出席会員数：279名
(うち代理人による出席者および書面により表決するもの245名)



総会では全議案を原案通り承認いただき、愛称「くらなび」を披露しました。福井県民の皆様が親しみやすく、お役に立てる研究所として08年度の事業を開始しています。

また、総会に先立って上映したドキュメンタリー映画「北極のナヌー」には、親子を中心に400名の参加がありました。いまだかつてない暖かな北極で、小さな白くまナヌーが想像を絶する苦難を乗り越えて懸命に生き抜く姿を目の当たりにして、私たち人間が地球温暖化を防ぐためにどのような行動をすべきか、家族で話し合う機会になったのではないのでしょうか。

2008年度基本方針

- ◆第3次中期3ヵ年計画の2年目として1年目の成果を着実に継続し、引き続き「自立した消費者が安心してくらする安全な地域社会の実現への貢献」をめざします。
- ◆「消費者の自立意識の向上」を支援する取り組みとして、福井県の委託事業の消費者講座に加えて消費生活能力検定や消費生活アドバイザーに関する啓発事業など、県民一人ひとりが自立した消費者としてステップアップしていけるよう、公益法人として支援していきます。
- ◆「家族のくらしを支援する」取り組みとして、食・環境・福祉・くらしの見直しなどくらしに関する啓発事業を更に充実させていきます。
- ◆「地域ネットワーク支援」の取り組みでは、行政や事業団体、地域の関係機関や市民団体、専門家との協働・連携を広げながら連携事業を積極的に働きかけます。
- ◆「子どもの食生活と健康及び親の関わり」調査結果や消費動向調査の継続・調査結果の公表とともに、委託調査事業を拡張できるよう営業を強めます。
- ◆各種啓発活動や調査活動を通じて、研究所を知らせる活動を引き続き精力的に行います。

愛称が決定しました！！

社団法人化10周年を記念し、より身近なくらしの研究所をめざし、愛称募集をしてまいりました。県内外から100通を超えるご応募をいただき、愛称が決定しました。

『くらしのナビゲーション』を略して『くらなび』です。

ナビゲーションとは、航海術、航空術のことです。そのほか、船舶や自動車を目的地まで導く役割をするもののことです。これが転じて、最近では位置関係を示すだけでなく、「必要とされるさまざまな情報を提供するもの」の意味にも使われています。

ふくい・くらしの研究所は「県民が安全な地域社会の中で、安心してくらするよう、消費者の自立意識の向上を支援し続けられる福井県に定着した研究所をめざし、「自立した消費生活のアドバイザー」と「消費者と行政・企業・生産者をつなぐコーディネーター」としての役割を果たしていきます。

愛称のロゴマーク

「く」の文字は研究所がめざす目的地へのベクトルを表し、そのほかの文字は「ひと」を表しています。県民の皆様幅広く浸透するよう、活動してまいります。

